

シンポジウムで議論

全国万引犯罪防止機構

全国万引犯罪防止機構
(竹花豊理事長) は1月19
日、東京都千代田区内で「万
引対策最前線・闘うリーダー
たちのメッセージ集」の
発行記念シンポジウムを開
催した。



竹花理事長

万引き犯罪は刑法犯認知
件数の約10%を占めてお
り、高齢者の万引きは青少
年を大きく上回る。近頃で

は、外国人による組織的な
大量万引被害が深刻になっ
ている。このような状況を
踏まえ、各地域・業界にお
ける万引対策や情報を盛り
込んだメッセージ集を發
行。執筆者がパネリストと
なり、それぞれの視点から
万引きに対する対策や最新
情報を紹介した。

竹花理事長は「本機構で
は、万引きに関する調査・
研究、提言活動を中心に取

り組んできたが、今後は自
ら具体的な万引き防止活動
の担い手へと変化していく
ことが必要だ。具体的対策
の「実行体」となることで、
万引き問題の解決に見通し
をつけるという強い決意で
臨みたい」と挨拶した。

シンポジウムでは、7人
のパネリストが参加。広報
啓発のあり方や大量窃盗団
対策、高齢者の万引対策、
万引き犯への損害賠償請求
などをテーマに議論が交わ
された。この中で、旅行用
のキャリアバックを持って
来店された方はレジでバッ
グを預かる、高齢者には声
をかけるなど、実店舗で有
効だった万引き防止対策が
紹介された。

(新野雄高)